

第48回海洋開発シンポジウム(2023) 企画討論会

『気候変動と近年の高潮災害・対策』

2023年6月28日(水) 15:45 ~ 17:45

「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)による第6次評価報告書 統合報告書の政策決定者向け要約が令和5年3月に公表された。今回の報告書では、『人間活動が主に温室効果ガスの排出を通して地球温暖化を引き起こしてきたことは疑う余地がない』、『継続的な温室効果ガスの排出は更なる地球温暖化をもたらし、短期のうちに1.5℃に達する』との厳しい見通しが示された。特に気候変動にともなう海面上昇と波浪の強大化は我が国沿岸での生活や経済活動に大きな影響を及ぼすことが予想され、将来強大化が予測される台風が引き起こす大規模な高潮は甚大な被害をもたらす可能性がある。そこで、本シンポジウムでは、これまでの高潮被害と対策をレビューするとともに、気候変動にともなう海象変化の実態を把握しつつ、激甚化する海象に対する適応策を導き出すことを目的としている。

オーガナイザー： 熊本大学 准教授 金洙列

1. 開会、趣旨説明

2. ご講演

「平成26年根室港における高潮被害とその対策」

北海道科学大学 教授 山本泰司

「平成30年台風第21号災害を踏まえた高潮対策」

関西大学 教授 安田誠宏

「自治体と連携した気候変動適応策」

沿岸技術研究センター 参与 橋本典明

「気候変動による海象変化の予測への試み」

北海道開発局 港湾計画課長 早川哲也

3. パネルディスカッション

4. 閉会